

令和5年度 都市医師会生涯教育担当理事協議会

とき 令和6年3月7日(木) 15:30~16:30

ところ 山口県医師会6階 会議室

[報告：理事 岡 紳爾]

挨拶

加藤会長 本日はお集まりいただき、感謝申し上げる。また、各都市医師会で生涯教育として講演会等を開催していただいていることに感謝申し上げる。日本医師会生涯教育制度における本県の単位取得率は全国平均より高い値になっており、勉強熱心な先生が多いことをうれしく思っている。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講習会は現地での参加者が伸びない面もあったが、ハイブリッド形式で開催したところ、参加者が増えている。今後も続けていき、参加者の便宜を図りたい。本日は慎重な審議をよろしくお願いしたい。

協議事項

1. 日本医師会生涯教育制度について

日本医師会の集計で、2022年度の日本医師会生涯教育単位取得者は全国で107,440人、前年度比+6,918人となった。平均取得単位は10.3単位、平均取得カリキュラムコード数は7.6コード、単位とカリキュラムコードの合計の平均は18.0であった。山口県での日本医師会生涯教育単位取得者は1,541人、前年度比+124人となった。平均取得単位は8.6単位、平均取得カリキュラムコード数は6.3コード、単位とカリキュラムコードの合計の平均は14.8となった。

日本医師会生涯教育制度では、3年間で取得した単位数とカリキュラムコード数の合計が60以上の方に、日本医師会生涯教育認定証が交付される。全国では4,671人に認定証が交付され、山口県では66人に交付された。

2. 令和6年度山口県医師会生涯教育事業計画について

(1) 生涯研修セミナー

生涯研修セミナーでは臨床のみならず、基礎系の研究分野や最新医学のトピックスなど幅広いテーマを取り上げて実施している。令和6年度も令和5年度と同様に、専門医の認定更新に必要な共通講習の単位を取得できるようにする予定である。なるべく多くの方に参加していただきたい。

(2) 山口県医学会総会

令和6年度の引受け医師会である徳山医師会より、下記のとおり説明いただいた。

令和6年6月9日(日)に周南市文化会館で開催する。午前では、山口大学医学部附属病院長で呼吸器・感染症内科学講座教授の松永和人先生より「感染症とCOPD」と題して講演いただき、続いて、大阪公立大学医学部附属病院の病院教授で医療の質・安全管理部長の山口(中上)悦子先生より「“医療安全”を問い合わせ～心理的安全性と医療の質～」と題して講演いただく。なお、山口先生のご講演では、専門医共通講習の医療安全の1単位が取得できる。午後は市民公開講座として、コロナ禍で疲労困憊した医療関係者の慰労と勇気づけを兼ねて、ソプラノ歌手のリサイタルを行う。

なお、令和7年度は山口市医師会、令和8年度は山陽小野田医師会が引き受けで開催を予定している。

(3) 中高生の職業体験事業

白澤理事より、下記のとおり説明が行われた。

将来の医師養成に向けた職業体験として、1年に1回開催している。令和5年度は宇部興産ビルで8月に開催した。内容は、簡単な医療実技を行い、医師を目指している中高生に対して、入試に関することや大学での医学教育について話をしている。定員は毎年埋まっている。できれば東部や北部でも開催したいと考えているが、これについては今後の検討課題である。

(4) 体験学習

体験学習は昭和60年から山口大学医師会、山口大学医学部にお願いし、山口大学の2教室にお引き受けいただき開催している。引受教室の講演や、普段、大学で使用されている医療機器を用いた実技研修が体験でき、大変好評である。令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたが、令和5年度は第一外科と第三内科の引き受けにより開催した。令和6年度も開催する予定であるので、多くの方に参加いただきたい。

(5) 山口県医学会誌

山口県医学会誌は「会員研究」として会員個人あるいはグループによる各種医学論文を掲載している。より充実したものにしたいので、積極的な投稿をお願いする。また、令和6年度の山口県医学会誌では、令和5年度に山口県医師会医学

研究助成を行った2名の先生による、概要論文を掲載する。

(6) 山口県医師会医学研究助成事業

本事業は令和5年度より新たに開始しており、会員の医学・医療に関する研究を支援することにより、医学・医療の発展と医師の県内定着促進を目的としている。対象は卒後20年未満の県医師会員で、かつ、日本医師会員であることと、日本医師会員歴1年以上としている。令和5年度は2名の方に助成を行っており、山口県医学会総会での研究発表と、(前述の)山口県医学会誌への概要論文掲載をしていただく。

令和6年度分については、これから選考会を開催する。また、令和7年度分の募集を令和7年1月に開始する予定であるので、その際は周知等への協力をお願いしたい。

3. その他

研修会の開催形式について意見をお聞きしたところ、参加がしやすいためハイブリッド形式での開催を望まれる声がある、という意見が多かった。

各都市医師会の研修会について実情をお聞きしたところ、製薬会社の協力による研修会では、テーマが同じような内容になってしまうという意見が出された。また、医療には直接関係しない内容(投資や税務に関することなど)を取り扱う工夫をされているところもあった。

出席者**都市担当理事**

大島郡	川口 寛
玖珂	川田 礼治
熊毛郡	竹ノ下由昌
吉南	目 昭仁
下関市	大谷 望
宇部市	内田 悅慈
山口市	佐々木映子
萩市	藤原 真一
徳山	原田 有彦

県医師会

防府	上田 亨
下松	後 賢
岩国市	横峰 和典
山陽小野田	関 耕三郎
光市	谷川 幸治
柳井	濱田 敬史
長門市	須田 博喜
美祢市	高橋 瞳夫